

# 政治・経済

## 1 体験的学習を導入して制度の概要を具体的に理解させる授業展開例

<主題> 裁判所のしくみと人権保障

<解説> 模擬裁判では、生徒がシナリオ(「コンビニ窃盗被告事件」)に基づいて裁判官や被告人等の役割を演じ、事件当日の証拠や証人の証言等の事実確認から判決を導きだす展開とした。このことによって生徒の興味と関心を高めるだけでなく、裁判の過程における裁判官、検察官、弁護士の役割を通して国民の権利・義務を保障する裁判制度の概要を具体的に理解させることをねらいとした。

## 2 情報通信ネットワークを利用したシミュレーション学習によって情報を主体的に活用させる授業展開例

<主題> 為替相場の仕組みと国際経済の特質

<解説> 為替レートの変動は、世界の政治・経済の動きと密接に関わっており、グローバル化した現代の経済の特質に迫るには適切な教材である。そこで、リアルタイムに情報を入手できるホームページを活用し、外国為替の変動を利用した投機のシミュレーション学習を設定した。

## 3 ロールプレイを利用して見方や考え方を深めさせる授業展開例

<主題> 国会のしくみと役割

<解説> ロールプレイの手法を取り入れ、国会の委員会審議を生徒がシナリオに沿って各委員による質疑と政府関係者による答弁を行う模擬国会を実施した。シナリオには第154回国会で審議された個人情報保護法案を採用し、「表現の自由を保障しつつ、個人情報をいかに保護していくか」、その望ましい解決のあり方を多面的・多角的に追究し、見方や考え方を深めさせる授業展開に利用した。

## 4 ディベートを利用して多面的・多角的に追究させ、望ましい解決のあり方を考察させる授業の展開例

<主題> 政府主導による福祉が望ましいか、自助努力による福祉が望ましいか

<解説> 授業では年金問題を通して将来の社会保障の在り方を、ディベートを利用して追究させた。年金問題がかかえる性格や課題は、政治と経済とを関連させながら「多面的・多角的に追究し、望ましい解決のあり方を考察させる」教材として適切であり、生徒にとっても、将来直面する課題であるからである。